# 大牟田商工会議所

機関名	大牟田商工会議所				
所在地	福岡県大牟田市有明町1-1-22				
電話番号	0 9 4 4 - 5 5 - 1 1 1 1				
地域概要	(1)管内人口 1 3 万 8 千人 (2)管内商店街数 3 0 商店街				
事業の対象とな	(1)商店街数 8 商店街 (2)会員数 3 1 9 商店				
る商店街の概要	(3)空店舗率 16.6% (4)大型店空き店舗数 3 店				
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3、地域型商店街 4.近隣型商店街				

#### 【事業名と実施年度】

平成13年度 空き店舗対策事業

総事業費

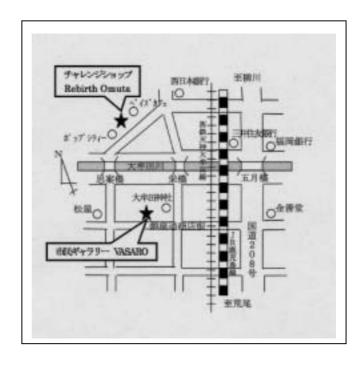
チャレンジショプ、ギャラリー 16,989 千円

# 【事業実施内容】

# 1.背景

福岡県大牟田市は福岡市と熊本市の中間、やや熊本よりに位置し、三池炭鉱で知られるように、古くから鉱業の街として栄えた。日本の高度成長を支えてきた炭鉱だが、昭和35年の企業合理化をめぐる「三池争議」あたりをきっかけに、街の衰退も始まる。当時20万人を超えていた大牟田市の人口は年々減少を繰り返し、平成12年度の国勢調査では14万人の大台を割るにいたった。また65歳以上の人口が占める割合は25%(H13年度)と福岡県内2番目である。

商店街の状況も同様で、平成3年に2,542件あった商店数は平成11年の調査では2,075件に減少、年間販売額も平成6年の1,570億円から毎年減少を続けている。



大牟田市中心商店街でのチャレンジショップと市 民ギャラリー位置

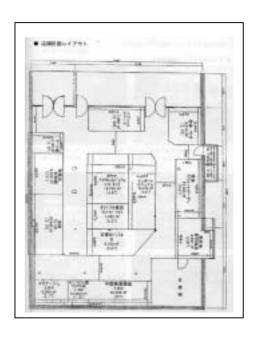
中心商業地では平成7年にダイエー大牟田店の閉店以来、核店舗であった大型店が相次いで撤退し、商店街としての機能が失われようとしている。そこに追い討ちをかけるように周辺地区に3万㎡規模の大型商業施設建設計画があり(既にH13.11 オープン) 先行き不安の状況で急激に空き店舗が増加した。

中心商業地の平均空き店舗率は 16.6% (H13.11.13) と深刻な状況である。

また、既存商店街では、経営者の高齢化が進み、後継者不足が深刻な問題となっており、 経営意欲の減退や発想の転換が出来ないなどの弊害が出てきたため、市行政とも協議の結果、この状況を打開するために空き店舗を活用し、若手創業者の育成として「ミニチャレンジショップ」を、さらには、街なかの賑わいを創出するため「市民ギャラリー」を開設することになった。



チャレンジショップ「リバース オームタ」は平成13年7月オープン。80坪の空き店舗で15のチャレンジャーが店を開き、うち、3人が独立するという成果を収めた。



## 2. 事業内容

ミニチャレンジショップ『Rebirth Omuta (リバースオオムタ)』

約80坪の空き店舗を区画割り(1坪~5坪程度)をして、将来独立開業をしたいという創業意欲をもった経営者予備軍を発掘するため、ミニチャレンジショップ事業を実施した。当初出店者は15店舗だった。



- (1)場所 栄町商店街の空き店舗を利用
- (2)期間 平成13年7月上旬~平成14年3月31日(日) 9ヵ月間
- (3)賃料 家賃@300円/月・坪 最初の2ヵ月間は無料。保証金・敷金・礼金はなし。共益費実費。
- (4)店舗面積 1坪から3坪/コマ×15区画
- (5)募集対象 経営意欲にあふれ、原則として経営経験が浅く、将来中心商店街などに店舗を持ちたいと思っている人
- (6)業種 業種は問わないが、出店に際しては一定の審査を行う。
- (7)出店者

店名	出店者 年齢	出店者 性別	業種	住所	店舗面積
LUST FOR	24	男	オリジナルTシャツ、バッ	山門軍	2.3 坪
LIFE			グ、アクセサリーなど		
RED NECK	23	男	ハワイアン洋服、小物	大牟田市	4.4 坪
ういの	49	女	漆塗り製品	大牟田市	3.3 坪
中国華夏服装店	30	女	ブティック	菊池郡	5坪
SWEET	24	女	クレープ、ホットサン	大牟田市	3.2 坪
GARDEN			۴		
竹竹	31	女	惣菜	大牟田市	2.4 坪
アート泰	59	女	似顔絵、ミニアート	荒尾市	1.2 坪
В	18 · 19	男	古着	大牟田市	2.2 坪
野田海産	18	男	海産物	大牟田市	2.6 坪
SUPER	42 · 32	女	アメリカンカジュアル	筑紫野市	4.3 坪
ECCENTRIC					
MARKET					
布和羅	31	女	和雑貨	大牟田市	2.5 坪
せこはん堂カ	62	男	中古・新品カメラ販売	熊本市	1.5 坪
メラ店					
YUM SHOP	22	女	携帯電話が、-フィルム	大牟田市	2.7 坪
Karinka	33	女	生花	大牟田市	1.5 坪
マリアージュ	45	女	エステサロン	大牟田市	

#### (8)現況(H14年3月時点)

外部に出店・・・3店舗(実際に独立した1店舗では、2人が異なる事業を展開)

継続中・・・・ 7 店舗リタイア・・・ 5 店舗新規参加・・・・ 4 店舗

市民交流ギャラリー 『VASARO(バサロ)』

本来商店街の持つべき役割である人と人との出会い、交流という機能を再構築すべく、約2 5坪の空き店舗を利用し、市民ギャラリー事業を実施した。

- (1)場所 銀座通り商店街の空き店舗を利用
- (2)期間 平成13年7月上旬~平成14年3月31日 9ヵ月間
- (3)出展料 2000円/日

- (4)出展面積 約80㎡の中で出展形態に応じた利用が可能
- (5)募集対象 地域で活躍する各種文化団体・NPO等
- (6)催事の状況

開催催事数: 15 主催者数: 15

入場者合計:10,781人(平均719人、最大2,000人)

開催期間 : ほぼ途切れることなく毎月開催









市民ギャラリー「バサロ」は平成 13年7月21日~平成14年3月31日まで約9ヶ月間オープン。その間、19の展示を行い、14,181人の来場者を集めた。

#### 【 効果】

ミニチャレンジショップ事業については、独特の店舗づくりと話題性で当初はテレビ局や 新聞社を中心に取り上げられ、来店者も予想を上回るものがあったが、厳しい商店街の状況 を反映して徐々に来店者も減り、事業開始後半年ほどすると、退店する出店者も出てきた。 しかし、随時募集すれば、必ず相当規模の応募があり、店舗内を常に出店者で埋めることは 出来た。

1年経過時点で、15店舗の出店者のうち、3店舗が独立開業の意思表示をし、うち1店舗が独立に成功した(同一店舗内で2人が独立した事業を展開)。事業の効果としては、出店者募集を通じて創業意欲をもった者の掘り起こしが出来たということ。商売をやってみようという人達に対してきっかけづくりになった。応募者の中には、ミニチャレンジショップとして出店するよりも最初から独立店舗で開業したほうが良いという応募者には、空き店舗を紹介し、独立開業にこぎつけた事例もある。また、独立に際しては、ミニチャレンジショップを経ての開業ということで、当初2~3年は家賃を通常の1/4程度に設定をするなどの家主も複数現れるなど、家賃を減額してでも賃貸していこうという家主の意識改革という観点からも効果が現れつつある。

市民ギャラリーについては、1年間の利用率が約75%と当初予想をはるかに上回る実績であった。市内外の美術団体やサークルなど幅広い利用者を得ることが出来、商店街の賑わい創出、さらには、文化の向上に大いに寄与しており、利用者や商店街関係者からは、今後も事業を継続して欲しいという要望が寄せられている。

## 【課題・反省点】

ミニチャレンジショップについては、指導体制の確立が大きな課題である。基本的には当 所担当者が日常的に出店者と意見交換をしながら指導に当たっているが、いわば集合店舗と いう形態であるため、出店者間の調整にかかるウエイトが大きい。物理的には不可能である が、専従体制が望ましい。

本来は地元商店街により全面的な支援、協力が必要であり、日常的な指導等についても商店街関係者による現場レベルでの指導が不可欠であるが、実態としては地元商店街とのコミュニケーションがあまりうまくいってない状況である。従って、日常的に出店者と対話や指導ができる商売経験者の起用が必要である。

市民ギャラリーについては、当初は利用が無い時は閉館していたが、周辺からの苦情が多かったため、業務委託をし、利用がない時でも、来街者の休憩所として活用している。

### 【 教訓】

事業は単年度であるが、2年目以降の事業展開も十分に協議したうえで初年度を取り組むべきである。

あくまでも商店街活性化のために実施する事業なので、商工会議所などの商店街以外の

大牟田商工会議所

団体等が事業主体となる場合には特に地元商店街にはその事業の主旨を十分に理解してもらったうえで実施すべきである。

# 【関連URL】

大牟田商工会議所 http://www.omutacci.or.jp/